

平成30年度企業版ふるさと納税を活用した事業の概要

| | | |
|----------|--|---|
| 事業名 | 「ひとづくり」を核とした持続可能な地域づくりプロジェクト | |
| 取組内容 | <p>1. ブックファースト（本がきっかけ、本が一番）事業 「本」を核として、乳幼児からの本に親しむ環境づくりや「学校図書館」を活用した授業を充実させることで、子どもたちの言語環境の充実と、児童生徒の学力向上を目指し、「ここで育てたい」と思う子育て世代のUターン者を増やす。</p> <p>【平成30年度取組内容】</p> <p>①乳幼児健診等での絵本贈呈 乳幼児健診（4か月、2歳6か月）において保護者対象の読み聞かせ実習や、読み聞かせ用の絵本のプレゼントを実施した。</p> <p>②読書フェスティバル等の開催 図書館ボランティア団体等が、親子対象に読書フェスティバルやお話会、読み聞かせ研修会等を開催した。</p> <p>③調べ学習用図書の購入及び学校への配送サービス 市立図書館に調べ学習用図書を設置し、小中学校への図書の配送サービスを実施した。</p> |  |
| 成果 | <p>①乳幼児健診等での絵本贈呈(2月末時点) 4か月健診：290人、2歳6か月健診：269人</p> <p>②読書フェスティバル等の開催 読書フェスティバル開催 （開催日：9/1、場所：グラントワ小ホール、参加者：2,000人）</p> <p>③調べ学習用図書の購入及び学校への配送サービス 学校への配送サービス（1月末） 配送回数：31回、利用冊数：877冊</p> |  <p style="text-align: center;">読書フェスティバルの様子</p> |
| 次年度の取組予定 | <p>①乳幼児健診等での絵本贈呈 継続して、乳幼児への絵本の贈呈、保護者対象の読み聞かせ実習を行う。</p> <p>②読書フェスティバル等の開催 読書フェスティバルを8月上旬に開催予定。</p> <p>③調べ学習用図書の購入及び学校への配送サービス 学校に対して利用啓発を実施し、引き続き市立図書館の図書の学校への配送サービスを行う。</p> | |

平成30年度企業版ふるさと納税を活用した事業の概要

| | |
|---------|---|
| 事業名 | 「ひとつづくり」を核とした持続可能な地域づくりプロジェクト |
| 取組内容 | <p>2. 学校を核とした子育て充実事業 学校を拠点として、地域に開かれた学校づくりを推進するとともに、地域ぐるみでの子育てを充実させることで、「ここで子育てしたい」と思う子育て世代のUターン者を増やす。</p> <p>【平成30年度取組内容】</p> <p>①コミュニティ・スクールの導入・促進 市内の小中学校での、地域とともにある学校づくり、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の活動充実と新規導入を目指し、戸田小、匹見小、高津小、桂平小を対象に、地域への公開授業(4回開催)や地域住民と各校教職員と一緒に研修視察(2回)などを行った。</p> <p>②社会に開かれた教育課程の実現 小学校校長会地域連携プロジェクトに参加し、未来の担い手を育てるための、学校と地域が連携・協働の在り方の研修(3回開催、参加者各8人)を行った。また、講演会等を開催した。</p> <p>③次世代育成コーディネーターの配置 地域全体での子育て環境を充実させるために、モデル的に市内3地区(吉田地区、安田地区、豊田・西益田地区)に次世代育成コーディネーターを配置し、地域における子どもの体験及び学習の場づくり並びに多様な大人との交流を行った。</p> |
| 成果 | <p>○匹見小中合同の学校運営協議会の設立により、地域と小中学校が一体となったコミュニティ・スクールの実現ができた。</p> <p>○次世代子育てコーディネーター配置による地域での活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みボランティア ・通学合宿 ・冬休みボランティア ・高津川川遊び ・鮎漁体験 など |
| 次年度取組予定 | <p>○匹見小中を小中一貫教育指定校とし、9年間の義務教育を通して、地域と学校の連携したカリキュラムのあり方を探る。</p> <p>○高津小地区でのコミュニティ・スクールの導入をきっかけに、中規模以上の小学校の地域での学校運営協議会の設立につなげる。</p> |



匹見小での和太鼓演奏ワークショップ



プログラミング学習公開授業(高津小)

平成30年度企業版ふるさと納税を活用した事業の概要

| | |
|----------|---|
| 事業名 | 「ひとつづくり」を核とした持続可能な地域づくりプロジェクト |
| 取組内容 | <p>3. 関係人口拡大事業 首都圏等の大学との継続的な交流事業や県外高校の修学旅行受入を通して、地域住民との交流を拡大するとともに、他県出身の高校生の地域活動を充実させることで、「関係人口」の拡大と深化を図り、若者の「ターン」につなげる。</p> <p>【平成30年度取組内容】</p> <p>①大学生等のフィールドワークの推進 益田市の関係人口の拡大を目的として、地域課題に関するフィールドワークを行う大学生等に対し、交通費や滞在に要する経費の補助を行った。</p> <p>②県外高校生等の修学旅行の体験受入れの推進 県外高校生をターゲットに、修学旅行生の受入れを促進するため、体験や交流を重視した修学旅行プログラムを造成し、市内での体験受入先の開拓、コーディネート、広報活動を行った。 ・教育旅行プロモーションビデオ制作 ・商談会参加（名古屋、東京） ・観光協会HPでの修学旅行紹介ページ制作（3月末完成予定） ・修学旅行体験受入先拡充のための営業、説明会、勉強会の実施 ・京都清明高校にて体験内容のプレゼン実施</p> <p>③私立高校の地域活動の促進 県外出身者が多数在籍する市内の私立高等学校に対して、高校生活だけでなく地域活動等を充実させることによって「関係人口」の拡大と深化を目指すための支援を行った。 ○益田東高等学校 ・空き教室を地域サロンへのリノベーション。 ・学校名を記載した「のぼり」を作成。 ○明誠高等学校 ・高校生が地域の食と文化に関する調査を実施。</p> |
| 成果 | <p>①大学生等のフィールドワークの推進 大学生のフィールドワークの実績 ：計18名（東京大学、筑波大学、近畿大学、大正大学等の大学生）</p> <p>②県外高校生等の修学旅行の体験受入れの推進 体験受入可能事業数：20事業者（当初7事業者）、 来年度京都清明高校2学年の修学旅行受入決定</p> <p>③私立高校の地域活動の促進 ・益田東高校：地域サロンの改修（前期）完了 ・明誠高校：地域の食と文化についての事前調査完了</p> |
| 次年度の取組予定 | <p>①大学生等のフィールドワークの推進 大学生等のフィールドワークの支援を継続して実施する。</p> <p>②県外高校生等の修学旅行の体験受入れの推進 ・7月上旬、京都清明高校2学年分の修学旅行を受入れ予定。 ・中国地方西部圏域での修学旅行のモデルルートを作成し、旅行会社への営業などを実施。</p> <p>③私立高校の地域活動の促進 ・益田東高校：地域連携ルームの改修（後期）を行い、地域住民の利用と生徒との交流を図る。 ・明誠高校：地域の食と文化についての調査、結果報告を実施予定。</p> |



大学生によるフィールドワーク



修学旅行の就業体験（竹内ぶどう園）